

IV 所見

今月は、全体的にみて、「あまりできていない」、「全くできていない」とする評価が他の月より多かった。

特徴的なものとして、「7. 自分のもの、他人のものを問わず、ものを大切にする」という項目では、「C:あまりできなかった」の回答数より「A:大変よくできた」の回答数の方が多かったことがあげられる。公共物を大切に、日ごろから注意喚起している成果が出つつあるのかもしれない。しかしその一方で、清掃時には机を引きずる音が聞こえてくるのも事実である。このあたり、厳しい目で見ると評価も変わってくる可能性もあり、それが結局生徒の”気づき”にもつながっていく。機会指導を徹底させ、まだまだ生徒の意識を高める必要があると思われる。

また「3. 先生、お客様に対して停止礼・挨拶をする」の項目では「C:あまりできなかった」とする回答がまだまだ多くある。さらに、「A:大変よくできた」との回答をみると、2年生より3年生の方が状況が悪い。また1年生に至っては回答数が0である。3年生の場合は、ある程度できているが、より厳しい目線でとらえた結果かもしれない。また1年生にとってみれば、いままで停止礼という馴染のないものを行うわけであるが、もう習慣化されているはずであろう。このあたり根気強く現場指導を行い、生徒の意識を高める必要がある。

この4月から、ハーベストマインドカードが予想を大きく上回って発行され1学期を終えた。しかし2学期に入ると発行枚数も低迷している。まだ気づかれていない生徒にもスポットライトを当て、励ます機会になるよう、注意深く生徒を見ていく必要を感じた。

